



身近な水環境の全国一斉調査  
第22回 June 8 2025  
全国水環境マップ実行委員会



## 第22回身近な水環境の全国一斉調査結果概要

発行日 2025年12月6日  
編集 全国水環境マップ実行委員会事務局  
発行 全国水環境マップ実行委員会  
発行所 全国水環境マップ実行委員会事務局  
問合せ先 全国水環境マップ実行委員会  
事務局 みずとみどり研究会気付(申込・問合せ)  
〒185-0021 東京都国分寺市南町2-1-28 飯塚ビル202  
TEL/FAX : 042-327-3169  
E-mail : mizutomidoriken@ybb.ne.jp  
U R L <https://www.japan-mizumap.org/>  
2026年2月移転予定 (郵便物は1年転送されます)  
東京都小金井市貫井南町4-1-7 友好荘205

発行部数 4,000部



本調査は公益財団法人河川財団の河川基金の助成を受けて実施しています。

第22回 2025

# 身近な水環境の 全国一斉調査

●●笑顔でつなぐゆたかな水辺●●

## 第22回 調査結果概要

# 2025

### 目次

I 調査の背景	P.1
II 調査の実施手法	P.2
III 調査結果の概要	P.3
全国一斉調査諸データの推移	P.4
2025 全国水環境マップ 第22回 身近な水環境の全国一斉調査結果	P.5
2004 全国水環境マップ 第1回 身近な水環境の全国一斉調査結果	P.6
IV 各ブロックでの調査結果	P.7
北海道地方 P.7	近畿地方 P.12
東北地方 P.8	中国地方 P.13
関東地方 P.9	四国地方 P.14
北陸地方 P.10	九州・沖縄地方 P.15
中部地方 P.11	
V 使ったバックテスト、どう捨てる?	P.16
VI 継続調査参加団体	P.19
VII 全国水環境マップ実行委員会名簿	P.20
VIII 身近な水環境を調べよう! 第22回「身近な水環境の全国一斉調査」参加のお誘い	P.21
第23回 身近な水環境の全国一斉調査 参加申し込み用紙	P.22

※「身近な水環境の全国一斉調査」は、毎年6月に統一調査日を設け、2004年から市民団体と河川管理者が連携して、全国の河川や湖沼など身近な水環境の水質を調査しています。  
本誌は、その結果をマップとしてまとめ、参加者のみなさんのご意見も掲載しました。

調査器材は(株)共立理化学研究所から提供を受けています。

後援 国土交通省 環境省

全国水環境マップ実行委員会

印刷 エキノックス



身近な水環境の全国一斉調査  
第22回 June 8 2025  
全国水環境マップ実行委員会





# I 調査の背景

市民や学校の子どもたちによる身近な川の一斉調査は1980年代の半ばから、多摩川・荒川の流域や霞ヶ浦・琵琶湖の流域など全国各地で行われてきました。しかし、調査の方法や項目などは必ずしも統一されておらず、水質の測定精度も十分に保証されていませんでした。このような多くの市民調査の結果を有効に利用するためには、統一的な調査マニュアルを作成し、測定精度の管理システムと全国各地の結果を比較できるデータベースを確立することが重要です。



多くの市民や学校の子どもたちが統一的な調査マニュアルにもとづき、身近な水環境を全国一斉で調査し、その結果をわかりやすいマップで表現することにより、全国の状況が一目でわかり、身の回りの環境に関する市民の理解と関心がさらに深まることが期待されます。

## 【身近な水環境の全国一斉調査のはじまりと10年間のまとめが一冊の本になっています。】

調査を実施するようになった社会的背景からどのようにして全国一斉調査がはじまったのか。そして、どのように全国に広まったのか。これまでのデータのまとめも含めて身近な水環境の全国一斉調査が一冊の本になっています。身近な水環境の全国一斉調査10年の歩みがわかる「見る 知る 調べる水」(全国環境研究会誌事務局、2015)は全国水環境マップ実行委員会事務局から定価1,500円(税込) 送料別で販売中です。



「身近な水環境の全国一斉調査」は2004年6月に開始され、22年間で延べ140,726人を超える市民や学校の子どもたちが参加し、全国の調査した水辺の延べ数はおおよそ119,433地点です。今後もこの調査を継続することで、水環境の保全に関する市民の意識が高まり、さらに多くの地点で調査が実施されることを期待されます。

## 目的と意義 ～自分たちで調べて、環境保全につなげよう～

1. 身近な水環境を簡単な方法を用い自ら調査することにより、その実態を知ることができる。
2. 統一的なマニュアルに基づき調査を行うことにより、調査結果を相互に比較する際の精度が向上する。
3. 身近な水環境の調査結果をすぐに知ることができる（行政による水質調査結果の公表はおおよそ1年後である）。また、全国の結果も速報値として数か月後に知ることができる。
4. 河川などの流域で、多くの人たちが調査に参加することにより、面的につながりのある結果が得られる。
5. 同一条件で調査した身近な水環境と他の地点の結果を比較することにより、身近な水環境の状態を評価できる。
6. 身近な水環境を流域、さらに広域の環境へ結びつけ、水環境の保全を考えるきっかけとなる。
7. 水の汚れの原因を調べ、考えるきっかけとなる。
8. 汚れの原因が明らかになれば、水環境を保全・修復するために、身近にできる実践活動に結びつけることができる。
9. 調査に参加した多くの人たちと連携の意識をもつことができる。
10. 子どもたちが調査に参加することにより、100年の眼で将来に活動を引き継ぐことができる。

# II 調査の実施手法

## 調査の概要

調査日：2025年6月8日(日)を中心に実施  
調査者：『全国水環境マップ実行委員会』のもと、河川の水質に関心のある市民団体や学校などが参加。  
調査内容・方法：調査マニュアルに基づき、気温、水温のほか、パックテストでCODを測定。

## 調査項目

### ●気温・水温・試水水温

一斉調査の調査票には、現地の気温・水温・試水水温と3種類の記入欄があります。現地の気温と水温を記入することで、同一日に行なった各地の気温と水温の分布を全国規模で把握することが出来ます。また、パックテストでCODを測定するためには試水水温が重要な要素であり、試水水温を測定することでパックテストの反応時間を把握して、より正確な測定を実施することができます。

### ●COD(化学的酸素要求量)

COD(Chemical Oxygen Demandの略称)は試水中にどのくらい酸化される物質、主として有機物があるかを示すもので、水中の有機物量の目安となります。河川水の一般的なCODの値は、きれいな水で1-2mgO/L程度ですが、水が汚れるにつれて値が大きくなります。今回の調査も同一のロット番号(製造番号)のパックテストを用いて、同一試料を3回測定し、その中央値を採用することでより正確な測定値を得ることができます。

※パックテストは、株式会社共立理化学研究所の登録商標です。

## 調査の手法

### ●採水およびCODの測定

詳しい採水方法、測定方法は下の二次元コードよりご覧いただけます



ハンディマニュアル\_採水



ハンディマニュアル\_測定

ブンセキをもっと  
身近にする



常に時代に最適な技術をもって  
世界中の誰でも気軽に  
水質分析ができる手段を提供し  
「ブンセキ」という文化として浸透させる事で  
理想的な社会創造に貢献します

水質の簡易分析製品  
パックテスト®



発色させたパックテストを  
iPhone®で撮影し  
判定結果を数値化する  
パックテスト専用アプリ

今すぐ  
ダウンロード



型式:ZAK-COD(D)-2  
パックテスト少量10回分

型式:AZ-RW-3  
解説付、環境教育/自由研究に

型式:DO-30  
溶存酸素を手軽に測定。30回分入り  
水質検査/水草の光合成の実験などに

New



株式会社 共立理化学研究所  
KYORITSU CHEMICAL-CHECK Lab., Corp.

https://kyoritsu-lab.co.jp  
TEL:045-482-6937

パックテスト 検索

神奈川県横浜市緑区白山1-18-2 ジャーマンインダストリーパーク



# 調査結果の概要

調べてわかる 身近な水辺

## 気温や水温にも着目

今年の一斉調査日は全国的には西日本で曇りや雨の地域が多く、関東より東側では曇りといった天気でした。ただ、6月の平均気温は全国的にも高かったようで本誌をまとめている9月になっても暑い日が続いていました。

本調査では水質CODデータのほかに気温や水温のデータも合わせてとっています。北から南に長い日本では全国の温度データを横並びに比較しても年ごと、地域ごとの調査地点数が異なっておりなかなか比較が難しいですが皆さまがお住いの地域ごとや流域ごとで定点としている地点の温度変化についても整理してみてもいいでしょうか。

全国統一日

調 査 日 2025年6月8日(日)  
参加団体数 281団体(個人参加含む)  
調査地点数 1,461地点

調査総数(全国)

期 間 2025年5月15日～7月13日まで  
参加団体数 579団体  
地 点 総 数 4,612地点

調査地点(海外)

台 湾 3地点

記念シンポジウムの  
YouTubeはこちらから



## 調査のまとめ

CODの結果としては、0～3mg/L未満の地点は全体の約34%、3～6mg/L未満は約46%、6mg/L以上は約20%となりました。なお、漏水等で採水できなかった地点は33地点でした。本誌が発行される12月にはホームページに詳細なデータも公開します。ぜひご活用ください。

市民団体、学校関係、企業や行政関係者など調査に参加いただいています。様々な事情により年々参加者数が減少してきています。新たな取り組みとしてSNSでの発信も行っていましたが、X(旧twitter)も今年5月からログインできなくなり、情報発信がとだえています。フォローしてくださった皆さん、申し訳ありません。そのような状況ですが全国47都道府県での調査を行うことができ参加団体数などは上記の通りです。

## 【ご寄付のお願い】

本調査は現在、河川財団の河川基金の助成金のみで運営しています。  
調査器材をメーカーの共立理化学研究所のご厚意で無償提供していただいているものの、年々値上げする郵送料やデータ集計のための人件費などの工面が大変になっています。  
実行委員会でも様々な提案をしてお対応していますが未だ成果にはつながっていません。  
そこで、皆さまに本調査にご支援いただきたく、下記の振込口座に寄付くださるようお願いいたします。

ご寄付いただく皆さまへ

郵便局備付けの用紙で振込みをしていただく場合、お手数ですが「寄付」又は「一斉調査寄付」とご記入ください。  
なお、寄付金は、全国調査のデータ集計や郵送料等、本調査の運営に活用させていただきます。

郵便振替口座

口座名称 全国水環境マップ実行委員会

口座記号番号 00150-0-514970

ご寄付をいただいた方々(団体または個人のお名前) 2024年9月16日～2025年9月1日

森雄三様、咸泳植様、笠井辰生様、原田武司様、生活クラブ生協寄居支部様、加古敏成様、諏訪祥子様、NPO法人十勝多自然ネット様、長瀬博文様、坂井京子様、福澤のみ様、コバヤシヒロシ様、西川裕美様、法政大学水文地理学研究室様、NPO法人地域環境科学研究所様、NPO法人荒川流域ネットワーク様、青梅長淵丘陵・大荷田の自然を守る会様、加藤功様、長等の川を美しくする会様、アースレンジャー地球環境アカデミー様、神崎川を守るしろい八幡溜の会、田中尚志様、村岡麻衣子様、川口朋久様、ホタルの学校様、びわこの水と地域の環境を守る会様、あわっ子エコクラブ様、さとしょうエコクラブ様、神田川ネットワーク様、阿部孝男様

多くの皆さまからのご寄付、ありがとうございました。

順不同

## 全国一斉調査諸データの推移

●年別 参加団体及び調査地点数集計結果

作成:全国水環境マップ実行委員会

	都道府県名	2016年		2017年		2018年		2019年		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年		2025年	
		団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点
1	北海道	25	131	36	435	28	486	26	214	20	389	22	221	26	109	34	177	26	114	28	163
2	青森県	5	17	5	19	7	69	7	60	5	74	6	31	5	15	6	33	4	14	4	14
3	岩手県	2	6	3	13	6	48	3	53	6	70	7	43	6	26	8	32	4	16	6	25
4	宮城県	6	29	6	30	8	65	5	73	6	72	4	28	5	21	6	23	4	11	7	13
5	秋田県	2	5	5	30	6	42	5	34	4	29	3	20	2	6	4	21	2	6	2	6
6	山形県	2	52	2	52	4	114	5	55	4	83	5	117	4	110	3	108	3	54	4	74
7	福島県	8	48	10	69	10	176	9	105	8	114	7	152	9	78	10	94	7	73	10	65
8	茨城県	40	286	37	285	36	321	35	269	30	225	34	237	36	290	36	329	33	288	37	307
9	栃木県	6	11	7	13	8	49	9	43	5	33	5	33	4	11	7	25	6	43	5	13
10	群馬県	9	81	10	114	9	123	9	158	9	150	9	113	8	142	9	169	12	159	11	142
11	埼玉県	64	399	63	441	65	461	68	522	56	407	64	419	66	465	69	467	63	407	60	382
12	千葉県	16	221	19	186	17	209	15	137	15	269	15	117	18	94	14	89	12	55	15	102
13	東京都	100	608	106	634	89	627	88	568	77	508	75	556	74	599	74	523	70	515	73	508
14	神奈川県	37	385	39	470	33	423	34	419	31	413	33	394	32	631	37	425	33	335	30	278
15	新潟県	25	269	23	210	24	222	20	172	18	212	20	262	20	202	18	194	15	182	16	176
16	富山県	6	15	7	38	9	42	7	16	6	32	6	24	7	13	6	15	4	7	5	12
17	石川県	6	12	2	9	4	23	4	34	4	57	7	38	4	16	4	12	5	18	4	16
18	福井県	3	43	7	48	7	64	5	47	6	74	6	52	4	47	10	64	7	58	2	45
19	山梨県	39	196	34	225	33	191	32	150	28	110	30	152	31	148	53	154	37	130	39	153
20	長野県	22	303	29	364	30	366	24	247	25	250	23	183	20	219	29	285	23	195	23	176
21	岐阜県	16	42	18	45	19	76	14	24	8	58	3	27	15	21	15	39	6	44	12	26
22	静岡県	12	27	11	119	10	128	8	114	11	171	10	59	11	44	13	62	10	75	10	112
23	愛知県	26	132	22	114	27	162	22	85	20	57	21	81	30	89	40	110	18	129	24	59
24	三重県	10	48	11	37	6	51	8	23	6	47	5	28	4	14	6	16	8	33	7	35
25	滋賀県	87	547	83	514	81	501	74	494	45	438	76	529	78	472	83	465	59	393	46	372
26	京都府	11	54	11	80	9	59	9	67	13	49	15	56	13	48	16	46	11	40	13	60
27	大阪府	24	188	28	202	31	168	26	158	15	71	29	138	31	136	38	132	29	93	25	101
28	兵庫県	33	136	30	136	33	136	31	171	31	133	34	125	39	157	39	153	33	125	25	100
29	奈良県	10	22	11	24	12	35	10	24	7	15	11	33	9	23	11	21	11	42	10	75
30	和歌山県	5	14	3	34	3	43	4	15	5	41	4	29	2	7	4	11	5	9	6	13
31	鳥取県	2	3	2	6	3	32	2	31	2	17	2	32	1	1	1	11	1	7	1	1
32	島根県	3	31	4	31	4	89	3	35	3	41	1	21	1	20	5	38	2	25	2	25
33	岡山県	10	249	14	292	12	307	12	323	12	320	9	326	11	306	11	328	9	295	8	278
34	広島県	9	62	10	83	8	51	9	62	9	53	9	65	10	38	16	55	11	39	8	9
35	山口県	4	17	8	23	8	21	8	47	5	38	8	26	5	9	7	16	4	7	4	10
36	徳島県	23	85	22	103	17	80	15	70	14	61	13	74	12	56	11	45	11	68	12	110
37	香川県	2	10	3	10	3	35	3	37	3	19	3	19	1	3	3	22	3	16	3	27
38	愛媛県	5	145	7	132	8	124	9	138	7	107	5	111	6	85	8	83	3	5	5	27
39	高知県	14	84	12	51	11	69	11	49	14	71	15	73	7	37	9	59	10	57	9	79
40	福岡県	22	76	19	70	22	92	25	77	26	145	29	108	30	104	42	195	22	77	24	90
41	佐賀県	5	20	8	27	5	24	5	39	4	44	5	35	3	17	5	26	4	54	5	64
42	長崎県	4	12	6	187	4	228	4	329	4	44	4	28	2	3	5	23	3	23	4	41
43	熊本県	5	35	5	18	6	77	4	15	3	38	4	39	8	42	6	36	3	3	7	61
44	大分県	2	11	2	11	4	58	2	11	4	83	3	72	4	37	4	33	3	14	5	47
45	宮崎県	5	44	5	43	5	71	3	81	2	48	2	56	2	46	2	41	1	26	3	55
46	鹿児島県	3	12	3	5	3	31	3	152	7	74	4	22	4	81	4	15	3	12	2	22
47	沖縄県	10	47	8	42	9	51	11	194	7	70	8	103	6	45	9	52	5	42	9	43
	合 計	785	5,270	816	6,124	796	6,920	745	6,241	650	5,924	713	5,507	726	5,183	850	5,372	658	4,433	670	4,612
	実団体数	750		758		730		697		586		655		660		752		578		579	

ただし調査団体数は同一団体が他都道府県に及んでいる場合重複カウントしている。  
実団体数の数値が真値。

※2020年、2021年は新型コロナウイルス感染予防対策として、実施期間を延長しています。

●参加者記入票集計結果

実 施 年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
参加者総数	7,061	6,944	6,797	6,565	4,041	5,238	5,156	5,163	4,191	3,821
小学生以下	1,927	1,690	1,725	1,868	601	937	1,070	1,028	559	721
中学生以上の学生	771	667	690	487	329	274	442	377	310	503
大 人	4,245	4,498	4,295	4,165	3,152	3,919	3,502	3,734	3,346	2,492

参加者記入票の人数は参加者からの記入されているおりにカウントしている為、参加者総数と各年代の合計と必ずしも一致しません。

参加者累計 132,705名

●一斉調査日実施状況

実 施 年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
団 体 数	345	411	388	367	265	296	339	364	255	281
地 点 数	1,951	2,418	2,615	2,448	1,347	1,578	2,035	1,845	1,472	1,461

●海外データ

国 名	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
	地点数	地点数	地点数	地点数	地点数	地点数	地点数	地点数	地点数	地点数
中 国	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
韓 国	—	—	10	39	—	—	—	—	—	—
チェコ共和国	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
イギリス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
インドネシア	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—
台 湾	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3

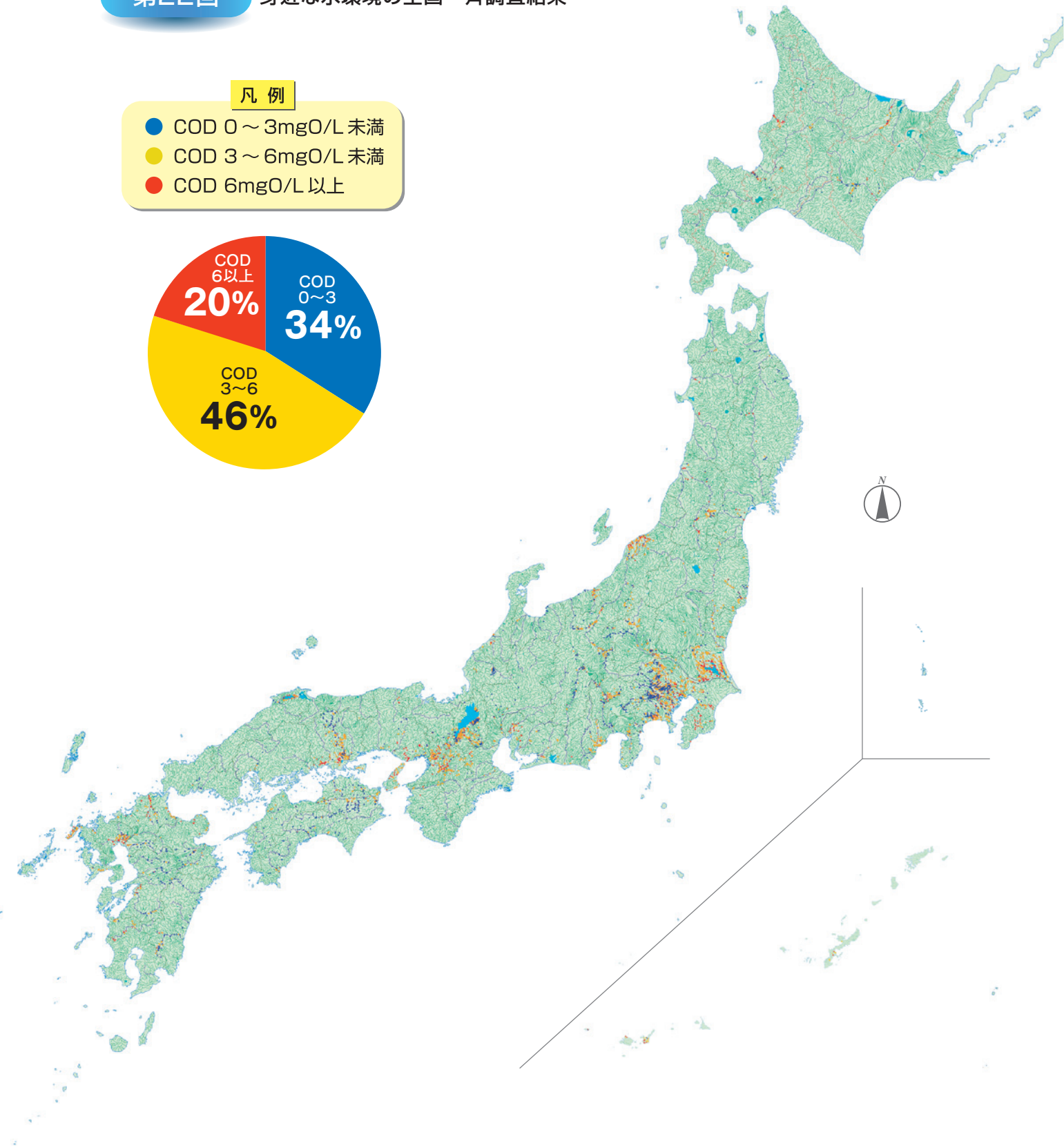
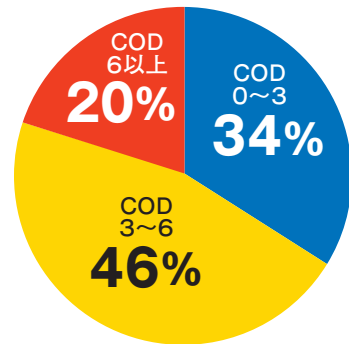


## 2025全国水環境マップ

第22回 身近な水環境の全国一斉調査結果

凡 例

- COD 0～3mgO/L 未満
- COD 3～6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上

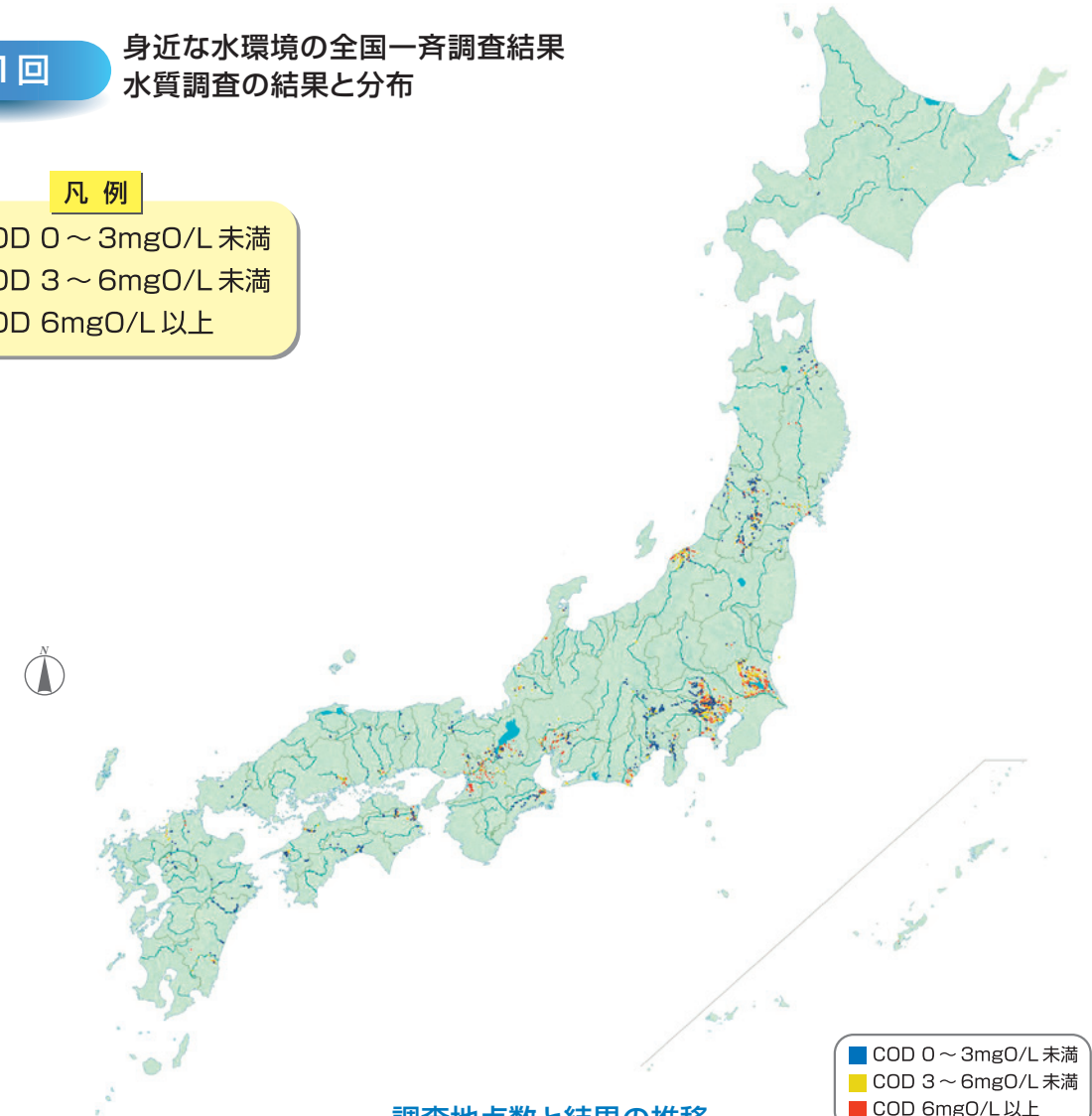


## 2004全国水環境マップ

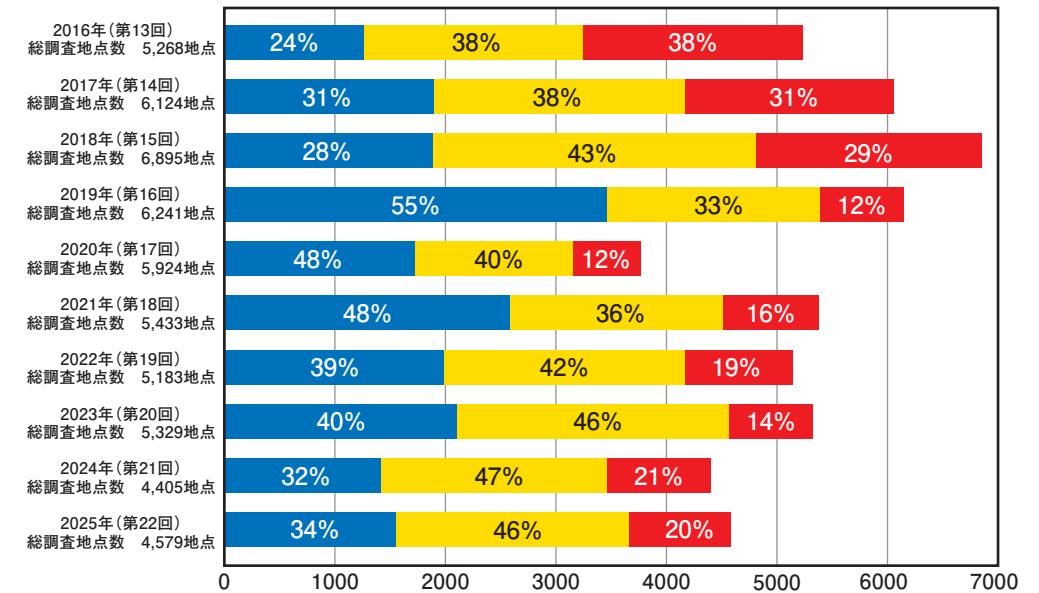
第1回 身近な水環境の全国一斉調査結果  
水質調査の結果と分布

凡 例

- COD 0～3mgO/L 未満
- COD 3～6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上



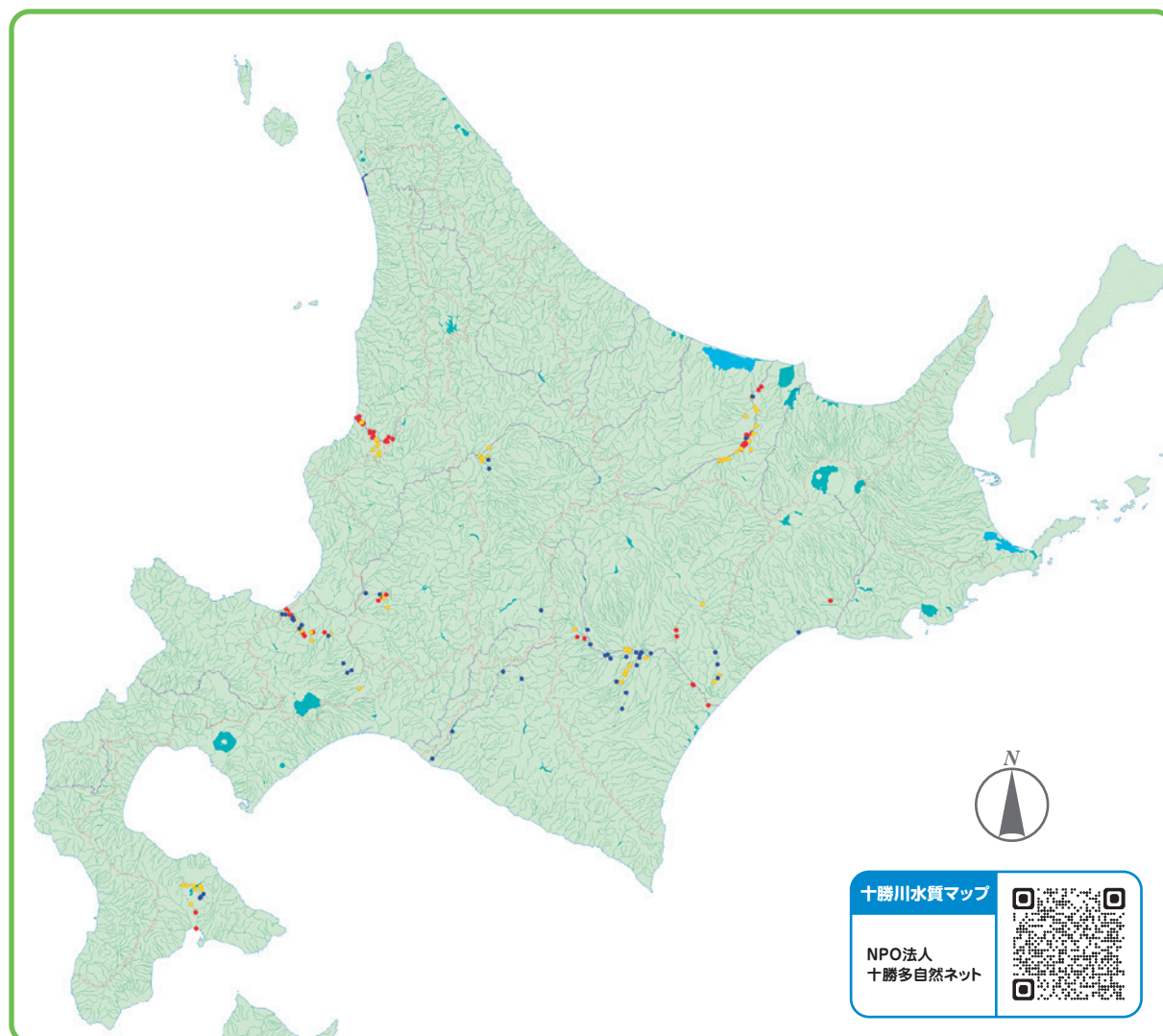
調査地点数と結果の推移





# IV 各ブロックでの調査結果

## 北海道地方

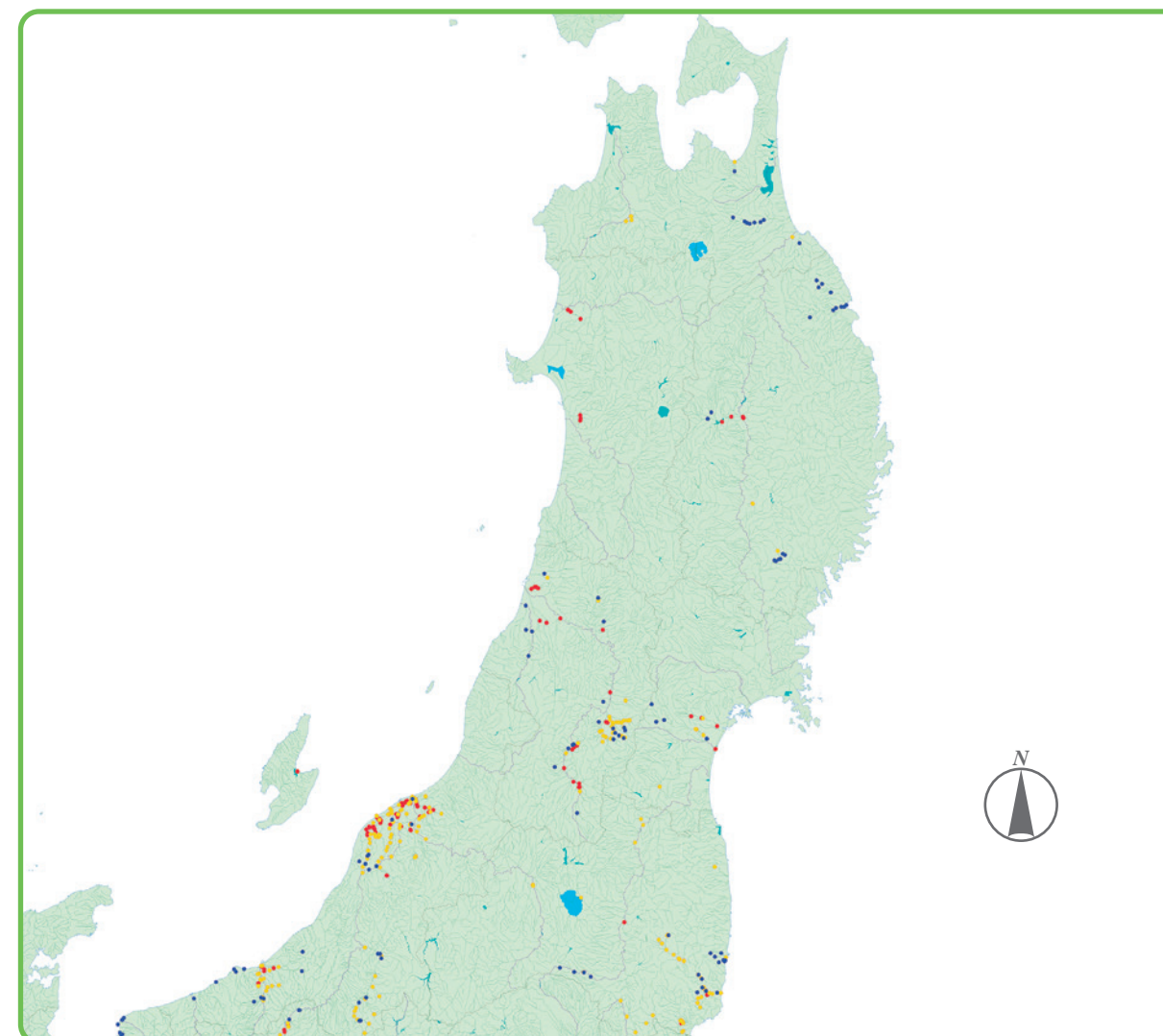


### 参加者からのコメント

- 全地点に共通して、例年よりCODが少し高かったです。前日の一時的な雨の影響と思われます。(調査地のアメダス降水量は0でした)。
- 雨量はそれほど多くなし。水量は昨年と同じく少なく、水深は10cm程度。流れは比較的速く、濁りやにおいの無い水。護岸はコンクリートであるが、底の部分は草が茂っている。ごみは見られない。
- 水質調査に参加させていただき自然環境の大切さを改めて感じました。今後も身近な環境に目を向けていきたいと思います。



## 東北地方



### 参加者からのコメント

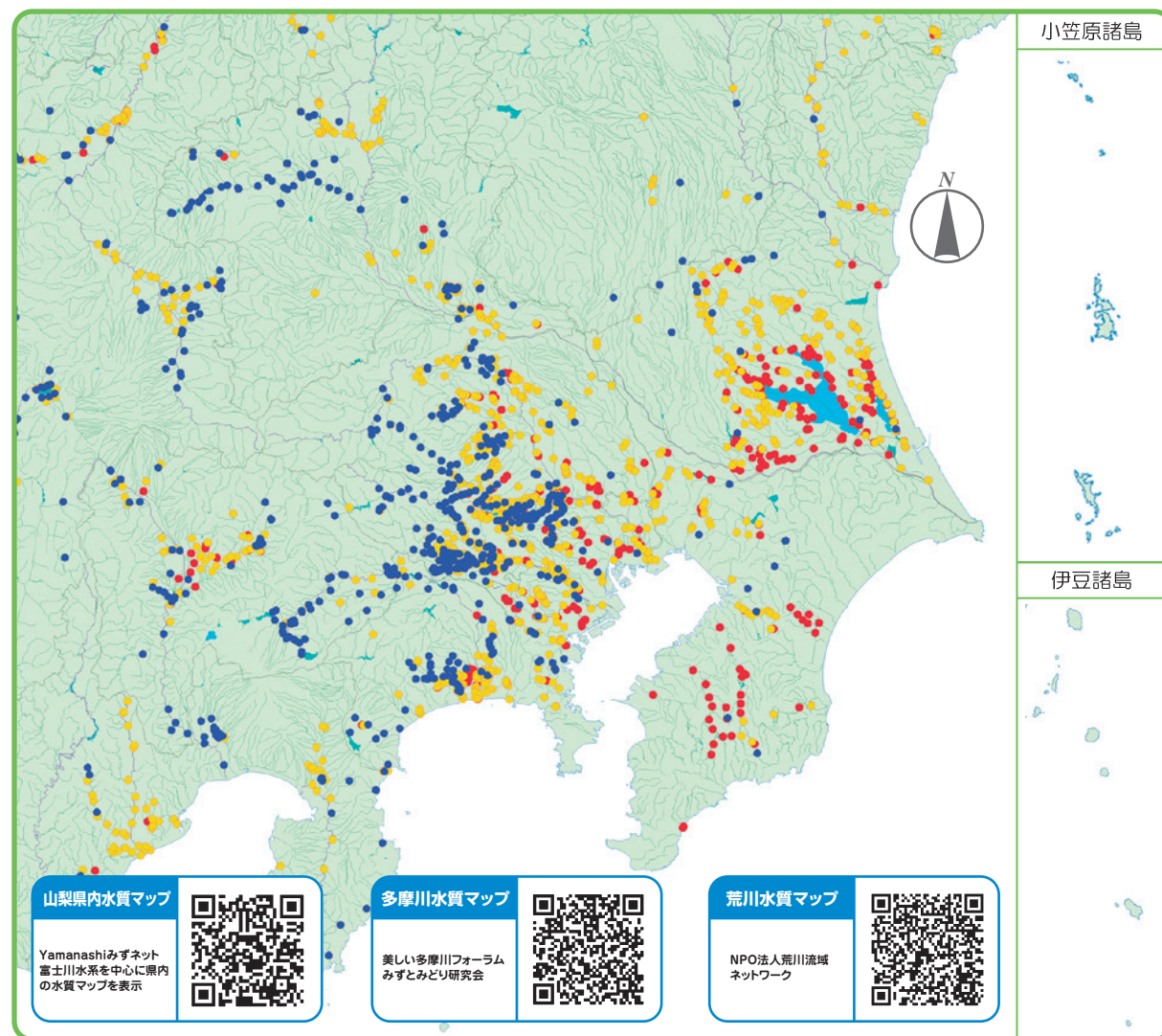
- 晴天が続き、渇水期に入って川の流量が減少している。
- より田んぼに近いところなので汚い。(田植えのあとのため) 雨のあとなので橋上から採水でき、水量があった。
- 清掃活動に参加した子供たちと一緒にいった。
- 流れ着いたと思われるごみや河川での活動後のごみ散乱。岸一面にオオバコの群生





# IV 各ブロックでの調査結果

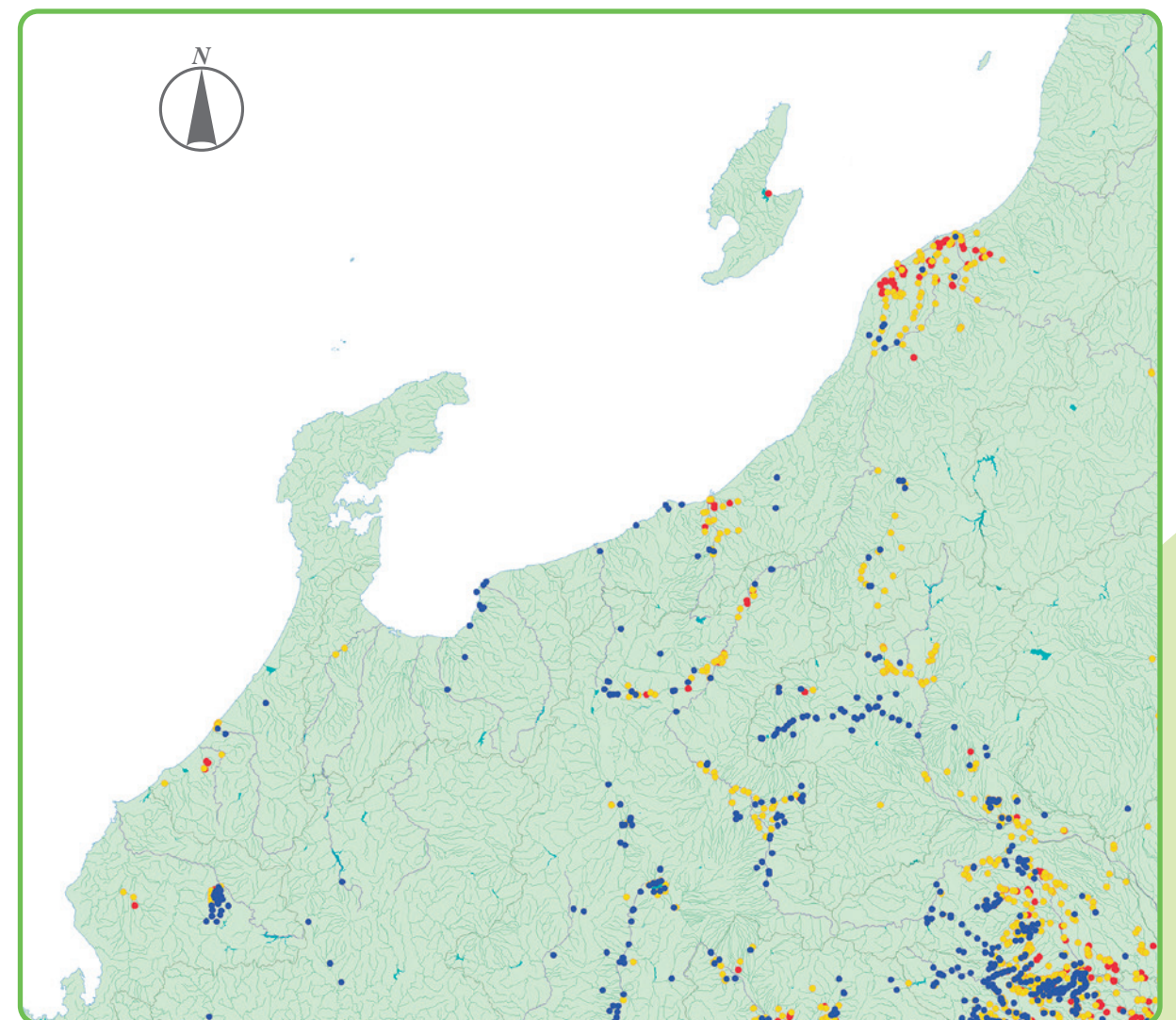
## 関東地方



### 参加者からのコメント

- ・週の後半は降雨がなかったが、例年と異なり、水の流れが途切れなく、しっかりあった。
- ・採水場所の上流に車のバンパー部品、草、プラごみが川の中に捨ててあった。
- ・臭いなし。流れのないところにゴミが堆積。橋の新設が完了し鳥が戻ってきている。
- ・先日来の降雨により、水面が少し高かった。当日は近辺にいなかったが、アユ釣りが解禁となり上下流に釣り人がいるようになった。

## 北陸地方



### 参加者からのコメント

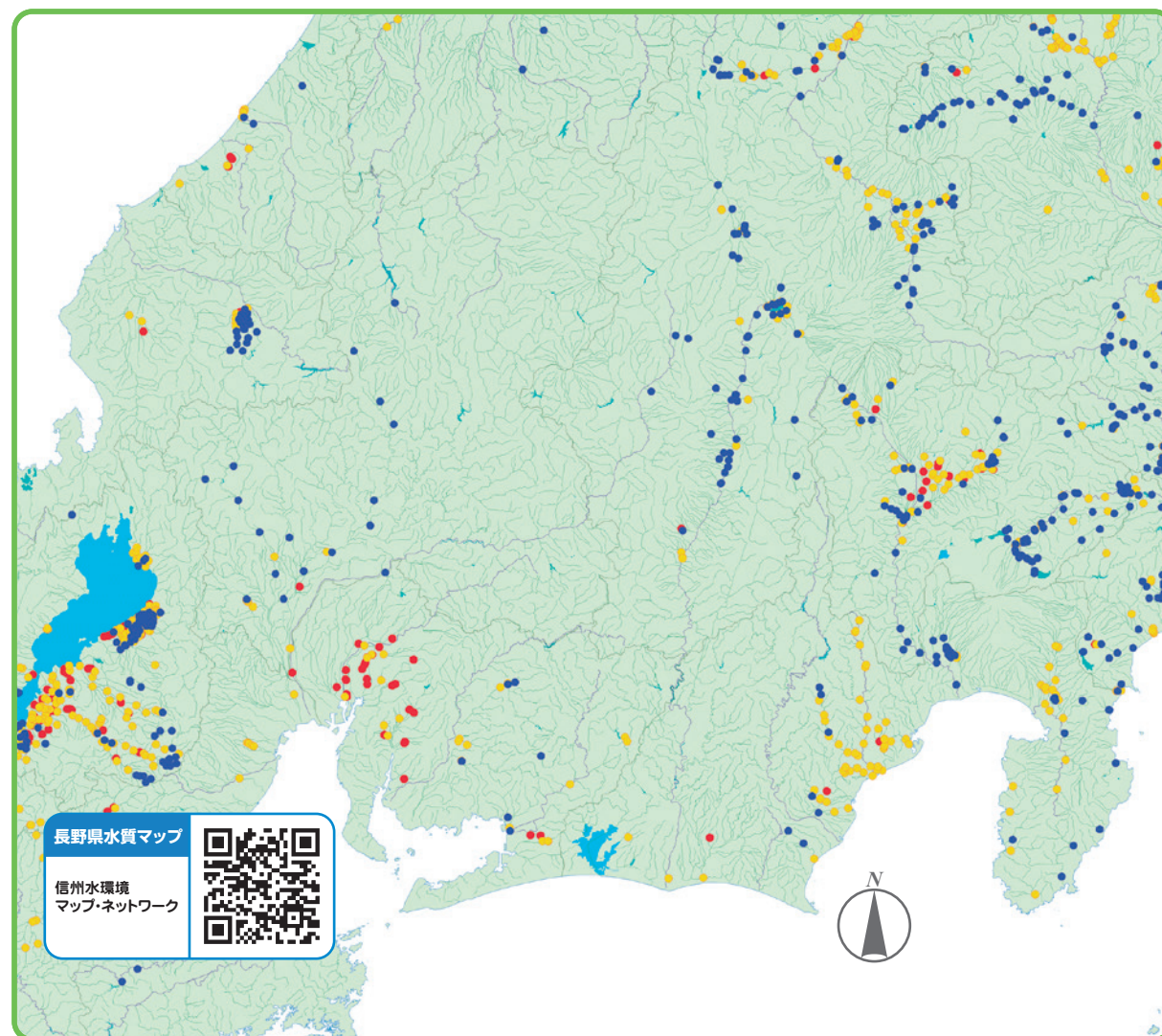
- ・ヒシが無くなりスイレンだけの池になった。
- ・葦の中にペットボトルが結構見える。
- ・晴れた日が続いたため水はきれいでした。また、採水場所は金沢市民の散策道等になっているためごみなどは見当たらず非常にきれいでした。
- ・バイカモの花がまだ咲いていない、水量多い、川幅が狭く流れが速い、濁りが少ない。





# IV 各ブロックでの調査結果

## 中部地方

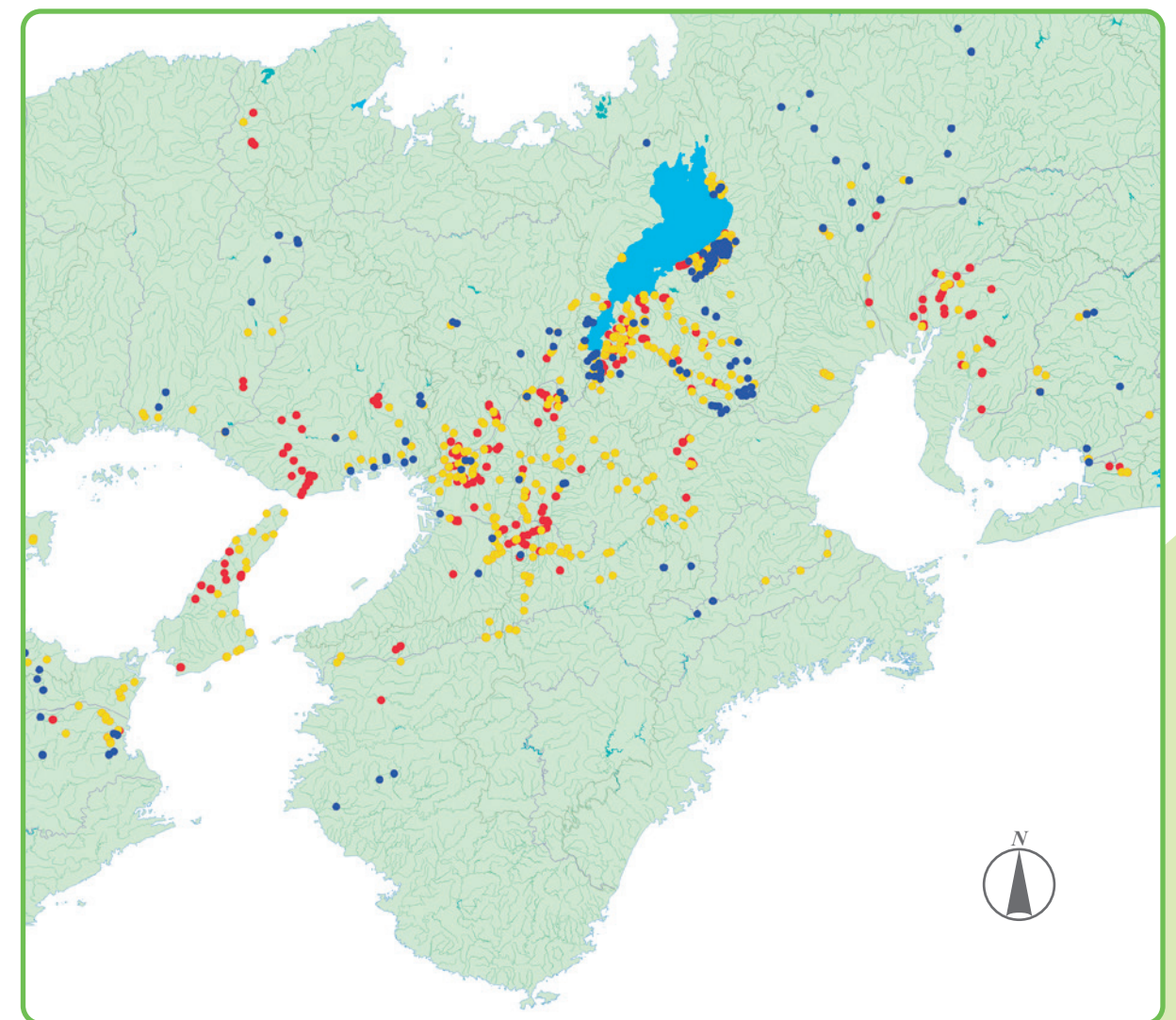


### 参加者からのコメント

- ・釣り客のゴミ多い（缶・ペットボトルごみ）。
- ・川底に肥料袋が沈んでいる。
- ・水量少ない。流れ緩やか。濁りあり。散乱ごみなし。
- ・水量は少ない。流れは遅い。SUPをやっている人がいた。
- ・ヨシの中でオオヨシキリが鳴いている。



## 近畿地方



### 参加者からのコメント

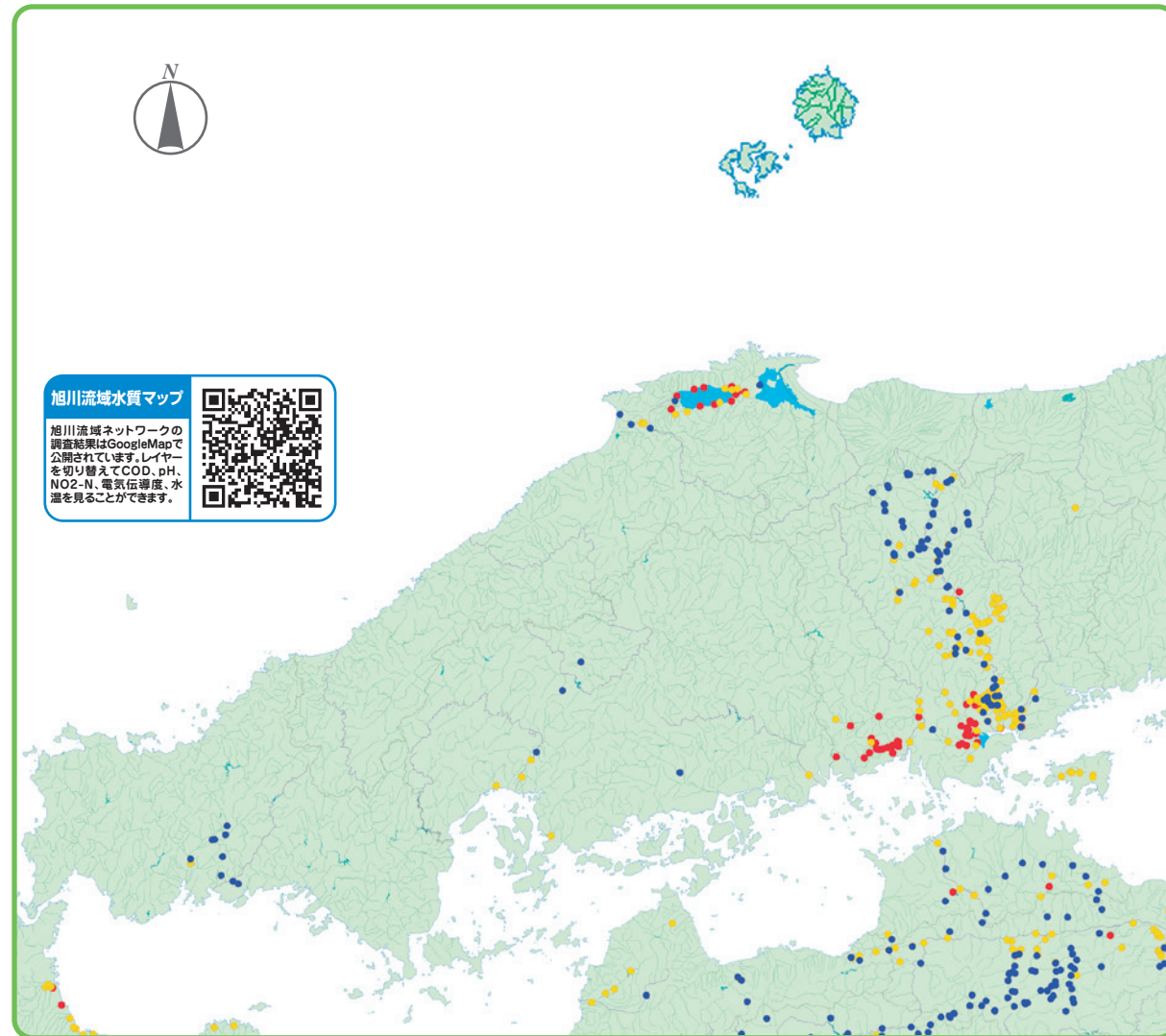
- ・獣害防止柵が嚴重になり定点の橋に入れず、200m下流の橋にて採水。
- ・草刈がされていて、川面に下りるのが楽であった。
- ・下流では堰があり、その上流での測定で流れは速く、濁りはない。水面や水中にもごみはなかった。
- ・たまにペットボトル流れてくる。濃い深緑色。カモが1羽泳いでいた。
- ・近隣の田、池などでコウノトリを見ることがある。田植えの時期であり、濁りがあった。





# Ⅳ 各ブロックでの調査結果

## 中国地方

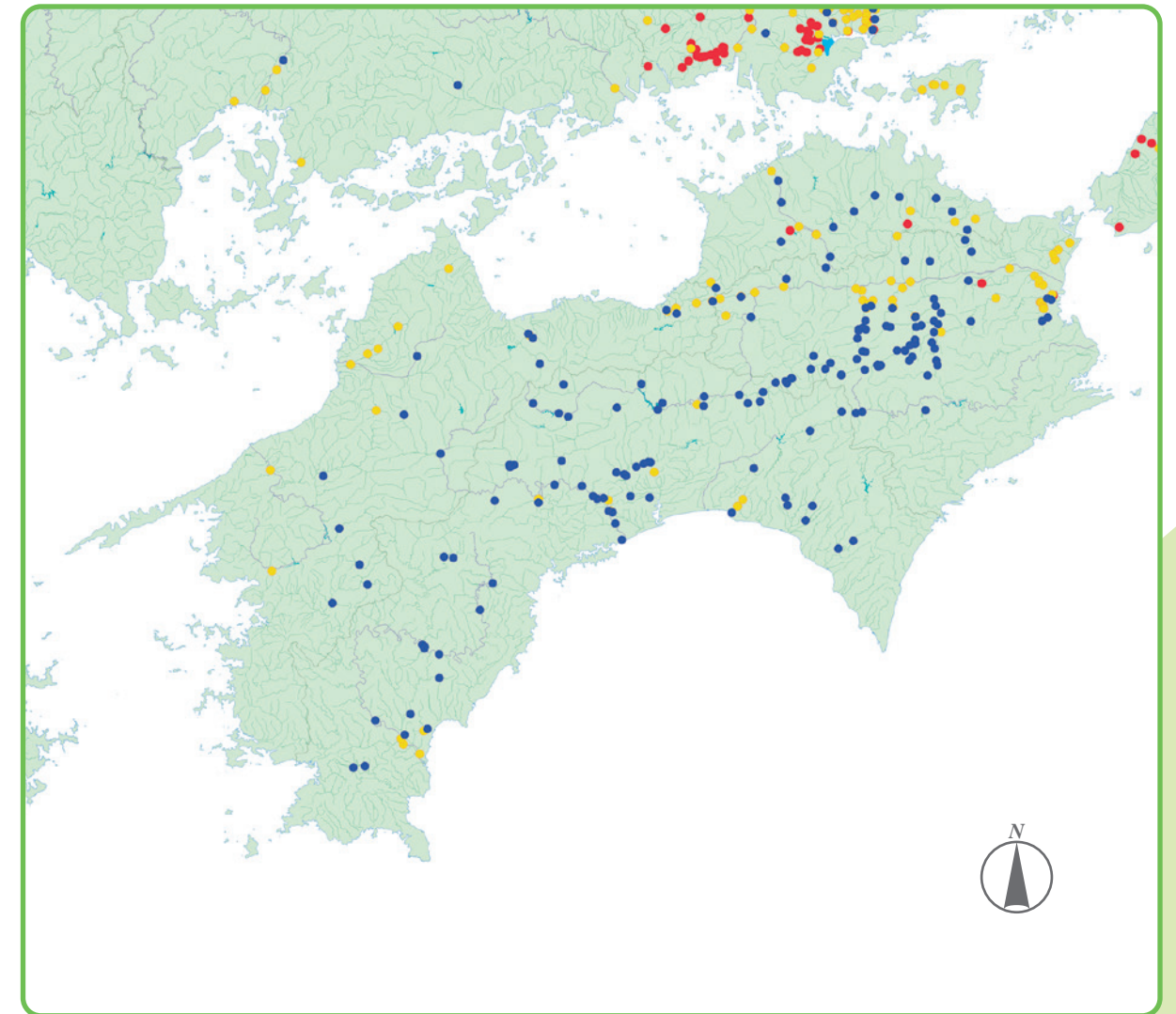


### 参加者からのコメント

- ・水量はあまり変わっていなかった。濁りもほとんどなし。ごみなし。流れはあまりなかった。
- ・流れ緩やか(排水有り)、ゴミが多い(動物の死骸があったが、採水地点より下流のため影響なし)、腐敗臭あり
- ・水草あり、濁っている、プラゴミ、発砲スチロールゴミ
- ・＜要検討事項＞ 安全確保の為、ライフベストの着用・安全第一を考え2人以上での調査



## 四国地方



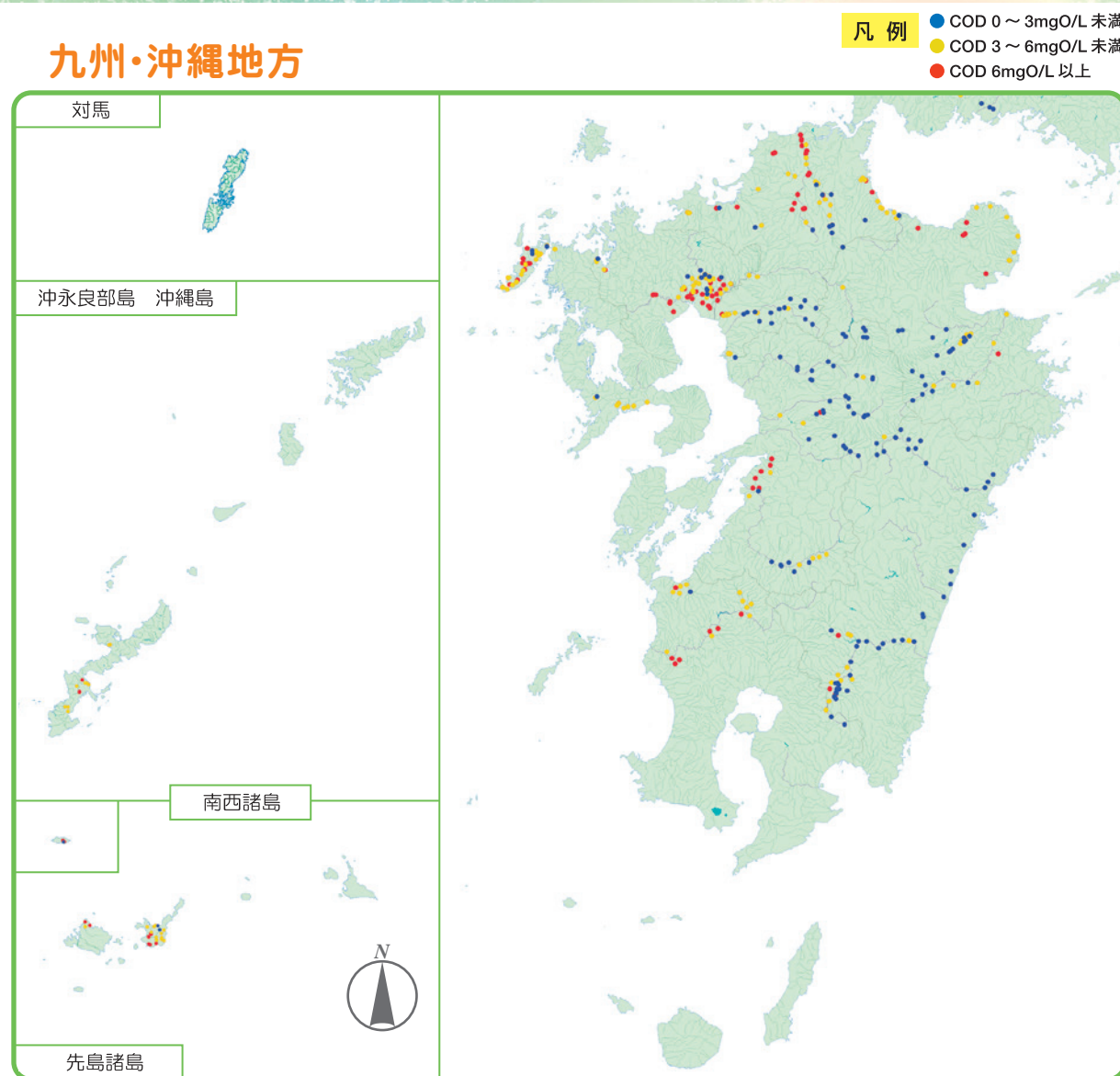
### 参加者からのコメント

- ・濁り水で川底が見えない。二つの川が合流しているところで水がよどんでいる。舟が繋がれている。ウナギ漁の人がいる。
- ・雨で少し水が濁っていた。アユ釣りをしていた。
- ・淀んでいる水は少し濁っているが、流れている水はきれい。ゴミは見えない。周囲の山からの湧水多い。





## Ⅳ 各ブロックでの調査結果



### 参加者からのコメント

- ・流れはほとんどなかった。田植えのためかにごりあり。水量はやや多かった。草くず、木くずが認められた。泡も多かった。
- ・水量普通、流れあり、濁り極めて高い、ごみ一部にプラごみあり。
- ・水量が減っている。山の竹が倒れ枯葉が多く落ちていた
- ・水量は多く、流れは良好であった。ごみの散乱もなくキャンプをしている人が多く見られた。
- ・前日の午前中豪雨だったため濁りや汚れが残っていた。



## V 使ったパックテスト、どう捨てる？

### 環境調査後の「おやくそく」！ 使ったパックテスト、どう捨てるのが正解？

近年のプラスチックごみ問題を受け、また参加者からの声もあり、本調査では第21回（2024年）から調査キットの一部であるスポイトと小容器の提供を初回参加者のみにして、消耗品以外の器材は継続的に使用していただくことにいたしました。

使用済みのパックテストも試薬は入っていますが容器の部分はプラスチック製品です。本調査では使用済みパックテストの処分方法として、初回参加時にお送りしている詳細マニュアルの23ページに「パックテストCOD(D)を廃棄するとき」として紹介しています。もし、詳細マニュアルを紛失してしまった場合はホームページから閲覧やダウンロードができます。

マニュアル全般 <https://www.japan-mizumap.org/003main/003manual/index.htm>

詳細マニュアル [https://www.japan-mizumap.org/003main/003manual/001manual/parts/07\\_2022/07-13\\_26\\_2022.pdf](https://www.japan-mizumap.org/003main/003manual/001manual/parts/07_2022/07-13_26_2022.pdf)

#### 詳細マニュアルより

#### パックテストCOD(D)を廃棄するとき

パックテストのチューブはポリエチレン製です。廃棄する場所の自治体の規定に従ってください。ポリエチレンを「燃えるゴミ」として廃棄できる場合は、中の液を出さずにそのまま紙でくるんで焼却処分してください。

### 【最重要】パックテストの正しい捨て方ガイド

パックテストの処分方法は、初回参加時にお送りしているマニュアルにも記載していますが、ここで改めて処分方法を確認しましょう。

使用後のパックテストのチューブはプラスチックでできていますが、使用後のチューブの中には水に溶けた試薬が含まれています。この試薬を川や排水口などに絶対に流してはいけません！

#### ① 基本の捨て方(推奨:燃えるごみ)

パックテストのチューブは、中身の溶液ごと、ビニール袋などに入れて「燃えるごみ」として処分することがメーカーから推奨されています。

#### ② プラスチック分別が必要な場合(少し手間がかかります)

近年、プラスチックごみの分別が厳しくなり、「燃えるごみ」として出せない自治体が増えています。お住まいの地域で「プラスチックごみ」として分別が必要な場合は、以下の手順で中身の溶液を分ける必要があります。

- 1.安全対策: 必ずゴム手袋などの保護具を着用してください。チューブ内の溶液は、強いアルカリ性を示すため、直接肌に触れないように注意が必要です。
- 2.溶液の分離: チューブ内の溶液を、ティッシュや新聞紙にしっかりと染み込ませます。
- 3.分別:
  - 空になったプラスチックのチューブは、プラスチックごみ
  - 溶液を染み込ませたティッシュ・新聞紙は、燃えるごみ
- 4.注意点: 溶液は絶対に、河川や排水口などには流さないでください。

\*企業や自治体、学校など、組織の活動として調査に参加されている場合、使用後のパックテストは「産業廃棄物」として特別な処理が必要になる可能性がありますのでご注意ください。



# 共立理化学研究所の取り組み

## ◆共立理化学研究所の取り組み ～2025年(第22回全国一斉調査)の試行～

今回の調査において、パックテストのメーカーである共立理化学研究所の取り組みとして使用済みパックテスト回収のトライアルを行いました。一部の実行委員の所属団体の方々にご協力をいただき、その結果をまとめ、実行委員会でも話し合われました。ここでは、調査後の「使用済みパックテストの正しい捨て方」について、改めてご説明します（次頁以降）。なぜ処分方法が大切なのか？それは、私たちが行う環境調査が、最後まで環境にやさしい活動であるためです。

### 本施策の目的

#### プラスチックごみの削減

調査終了後、水質調査キットが自然環境に廃棄物として排出されることを防ぎ、環境負荷を軽減する。

#### 責任ある廃棄物管理

メーカーが使用済みの調査キットを回収し、適切な処理を行うことで持続可能な方法での廃棄物管理を実現する。

#### 環境保護への貢献

水環境調査という社会的意義のある活動において、さらに環境保護に配慮した取り組みを推進する。

### 回収対象

一斉調査で使用されたパックテストCOD（低濃度）のチューブおよびライン

Copyright © 2025 Kyoritsu Chemical-Check Lab., Corp. All Rights Reserved

### 回収キット内容

ポリ瓶

チャック袋

回収方法についての案内

アンケート用紙

着払い伝票

液漏れしにくいポリ瓶を採用、ポリ瓶をさらにチャック袋に入れることで輸送中の液漏れを防ぐ。

ポリ瓶は、発送先のチューブ配布数に応じてサイズ、本数を調整した。

段ボール箱に梱包し送付

### 回収方法

#### ① 使用後のチューブとラインをポリ瓶に入れる。

チューブ内の溶液は、そのまま回収とした。

可能であれば、写真のようにラインをチューブの穴に戻すようお願いした。

#### ② ポリ瓶をチャック袋に入れる。

#### ③ 回収キット送付時の段ボールに梱包し、着払いで横浜本社に発送

宅急便の手配は、調査参加者にお願（コンビニ持ち込み、集荷など）



### 回収トライアルから見た参加者の声

**共立理化学研究所が行った使用済みパックテストの回収トライアルの目的は、以下の3点です。**

- ・プラスチックごみの削減
- ・責任ある廃棄物管理（環境への配慮）
- ・環境保護への貢献

**トライアルにご協力いただいた方々へのアンケートでは、以下のような貴重なご意見をいただきました。**

- ・「ごみの出し方になんとか迷いがあったので、回収はありがたかった。」
- ・「中に薬品（試薬）が入っているものを一般ごみで出すのに抵抗があった。」
- ・「これからも回収があると、安心して調査ができる。」
- ・「参加者は環境意識が高いので、処理方法をもっとしっかり周知すればよい。」
- ・「危険な薬品を使っているわけではないと思われるので、自治体側で処分させてほしい」
- ・「環境活動への取り組み、企業努力に感謝します。回収後、どの様に処理されていくのかも説明頂けると参考になり ありがたい」

多くの参加者が「処分方法に迷い」や「環境への配慮」を感じていることが分かりました。そこで、皆さんが安心して調査を終えられるよう、正しい処分方法を改めてご紹介します。

### まとめ

### 最後まで責任を持って、環境調査を完了させましょう！

パックテストは、調査が終われば「プラスチックごみ」になります。もし、これらが水辺に放置されたり、不適切な方法で捨てられたりすると、私たちが守りたい水環境にさらなる負荷を与えてしまいます。測定して終わり、ではありません。「ごみの処分までが環境調査」です。皆さんが安心して、そして正しくパックテストを処分できるよう、私たち実行委員会も、今回見えた課題（回収の必要性や処理方法の周知など）への対応を継続して検討していきます。引き続き、ご協力をお願いいたします。



VI 継続調査参加団体

VII 全国水環境マップ実行委員会名簿

皆 勤 賞					
22年参加(結果提出)団体(合計64団体)個人参加1名を含む					
北海道	NPO法人十勝多自然ネット	茨城県	鉾田市	埼玉県	埼玉西部・土と水と空気を守る会
山形県	美しい山形・最上川フォーラム	茨城県	神栖市	東京都	自由学園
茨城県	一般社団法人 霞ヶ浦市民協会	茨城県	行方市	東京都	明法中学高等学校 科学部
茨城県	国土交通省 霞ヶ浦河川事務所	茨城県	美浦村	埼玉県	NPO法人 荒川流域ネットワーク
茨城県	石岡市	茨城県	阿見町	東京都	浅川流域市民フォーラム
茨城県	龍ヶ崎市	茨城県	河内町	東京都	八王子ランドマーク研究会
茨城県	牛久市	茨城県	桜川市	東京都	八王子中央地区環境市民会議
茨城県	つくば市	茨城県	利根町	東京都	八王子市東南部環境市民会議
茨城県	鹿嶋市	茨城県	土浦市	岡山県	旭川流域ネットワーク
茨城県	潮来市	埼玉県	新河岸川水系水環境連絡会	東京都	個人参加
茨城県	稲敷市	東京都	東久留米ホテルを呼びもどす会	東京都	八王子西南地区環境市民会議
茨城県	筑西市	埼玉県	和光自然環境を守る会	東京都	(公社)東京都山岳連盟自然保護委員会
茨城県	かすがうら市	東京都	川つくり清瀬の会	東京都	羽村・水と緑の会
茨城県	茨城町	埼玉県	NPO法人 エコシティ志木	東京都	東京環境工科専門学校 増穂班
茨城県	小美玉市	東京都	白子川源流・水辺の会	東京都	林・宮島ファミリーズ
茨城県	笠間市	埼玉県	生活クラブ生協所沢東支部	東京都	国分寺みずっこクラブ&国分寺地下水の会

10年以上の参加団体(今年度参加をした上記以外の団体)283団体(内個人12名)									
北海道	帯広細田冒険遊びの会	埼玉県	育てる会	神奈川県	水辺愛護会 稚子川はふるさと川の会	岐阜県	大野町NPO法人里山会	兵庫県	六方だか公園
北海道	留萌川を愛しむ会	埼玉県	市ノ川エコクラブ	神奈川県	若葉町連合自治会 生活環境部	岐阜県	豊田町生活と環境を考える会	兵庫県	白糠つづり川流域連携を進める会
北海道	こどもエコクラブいしろ JEC	埼玉県	NPO法人 荒川の自然を守る会	静岡県	社会福祉協議会	静岡県	磐田市環境学習コースポーツ(少年団)(静岡県)	兵庫県	武庫中学校・高等学校 生物部
北海道	機曾別川をよぶる市民の会	埼玉県	鶴ヶ島の自然を守る会	神奈川県	ファミリー版さんち	愛知県	尾張西部生活系ネットワーク T-海部野川	兵庫県	株式会社積水化成品西宮 加西工場 SKG
北海道	利根川をきれいにする市民の会	埼玉県	熊谷の環境を考える連絡協議会	神奈川県	霞下再生プロジェクト	愛知県	矢田・庄内川をきれいにする会	奈良県	日本環境学会近畿支部会
北海道	十勝川のシャモモを守る会	埼玉県	生活クラブ生協寄居支部	新潟県	金目川水環境ネットワーク	愛知県	NPO法人 環境研究所豊明	奈良県	特定評定科試験法(国)環境施設とインフラを考える会
北海道	北海道函館水産高等学校	埼玉県	東洋大学	神奈川県	大井まもつりコミュニティ研究会	愛知県	あまふらぶ	奈良県	株式会社 積水化成品天理 SKG
北海道	パナソニック建設エンジニアリング労働組合	埼玉県	生活クラブ生協鶴ヶ島支部	新潟県	NPO法人おんわく福島湖	愛知県	天白川上の楽校	福岡県	高田1町水道協議会
北海道	株式会社 積水化成品北海道 SKG	埼玉県	与野ドングリの森と水辺サポーターズ	新潟県	NPO法人関川水辺クラブ	愛知県	NPO法人朝倉川青水フォーラム	岡山県	児島湖流域エコウェブ
北海道	株式会社 積水化成品北海道 網走工場 SKG	埼玉県	小睦の会	新潟県	新潟市市民大講座部	愛知県	越前川・堀川と生活を考える会	岡山県	さしうエコクラブ JEC
北海道	十勝川中部都市民協働会議	埼玉県	NPO法人さやま環境市民ネットワーク	新潟県	新潟県西蒲原土地改良区	愛知県	山手川・バトーワーク委員会	岡山県	積水化成品環境 岡山製造部 SKG
北海道	北海道パナソニック・ファミリー会	埼玉県	白岡町観光協会水辺の里親会	新潟県	越後新川まちおこしの会	愛知県	みなと塾	岡山県	岡山市京山地区ESD-SDGs推進協議会
青森県	HEP21エコクラブ JEC	埼玉県	市野川水系in蒲川町	新潟県	西川を創る会	愛知県	刈谷市民の会	広島県	株式会社 積水化成品西部 三原工場 SKG
青森県	NPO法人水辺の楽校まべち	埼玉県	ふきあげ環境フォーラム	新潟県	エコクラブ サンダーバード	滋賀県	NPO法人 蒲生野考現倶楽部	広島県	株式会社積水化成品西部 広島工場 SKG
青森県	奥入瀬川クリーン対策協議会	埼玉県	比企川の川つくり協議会	新潟県	リッチプロジェクト	滋賀県	NPO法人瀬田川リハビリ隊	広島県	パナソニック松愛会 中国西支部 H.O
岩手県	磐石町児童館 わくてんばー	埼玉県	桂川を愛する会	新潟県	いりやた里山研究会	滋賀県	野洲川に親しむ会	山口県	パナソニック松愛会 中国西支部 Y.H
宮城県	(公社)みやぎ環境とらしネットワーク(MELON)水	千葉県	カヌークラブかわせみ	新潟県	日本バスマグ(株式会社 蒲原工場	滋賀県	湖南湖流域環境保全協議会	山口県	水の会館人 しんせいせいさん アカザ隊
秋田県	部会あきた緑の少年団	千葉県	ぬく森エコクラブ JEC	富山県	小矢部川に学ぶ会	滋賀県	琴津塾	山口県	積水化成品西部防衛工場 SKG
秋田県	能代市こども環境探偵団	千葉県	二重川に親しむ会	富山県	みずはし地域学芸員	滋賀県	東豊市役所	徳島県	徳島ライフエクスプローラ
山形県	NPO法人パートナーシップオフィス	千葉県	茨城県水成産品部 佐倉工場 SKG	富山県	常盤寺川の清流と桜を愛する会	滋賀県	NPO法人環境を考える会	徳島県	株式会社積水化成品西部門工場 SKG
福島県	夢はたふこり	千葉県	湘南積水工業株式会社 SKG	石川県	「美川自然クラブ」	滋賀県	滋賀県環境事務所事務所	香川県	土師土物研究会
福島県	西郷(らし)の会	東京都	多摩市水辺の楽校	山梨県	まちづくり時習塾	滋賀県	NPO法人琵琶湖ネット津津	香川県	カヌー
福島県	阿賀川・川の達人の会	東京都	日野市環境共生部 緑と清流課	山梨県	富士川ファンクラブ・市川大門地区	滋賀県	琵琶湖の水と地域の環境を守る会	愛媛県	PHC労働組合 本部
福島県	夏井川流域の会	東京都	八王子市西部地区環境市民会議	山梨県	富士川ファンクラブ・南部地区	滋賀県	鹿原の里 甲斐流域環境保全協議会	高知県	公益財団法人西四十川財団
福島県	福島県立原町高等学校 数科学部	東京都	八王子市東部地区環境市民会議	山梨県	富士川ファンクラブ・六甲地区	滋賀県	野洲川を愛する会	高知県	NPO法人YASUJ海の家クラブ
茨城県	鶴ヶ崎市民環境会連 水・大気環境部会	東京都	公益社団法人 全国下水道コンサルタント協会	山梨県	富士川ファンクラブ・身延地区	滋賀県	甲南楽校 バイトが(系)町 堀川に親しむ会	高知県	徳島自然史の博物館徳島支部(フォレストクラブ)
茨城県	茨城県山岳連盟自然保護委員会	東京都	府中みずよう市民の会	山梨県	みずかつおむら	滋賀県	近江県企業庁水辺浄水場	高知県	田の川の環境を考える会
茨城県	株式会社 積水化成品関東 SKG	東京都	福生市水辺の楽校運営協議会	山梨県	松田(旧)グループ	滋賀県	東近江環境保全ネットワーク	福岡県	水の口
茨城県	茨城県水成産品部 下館製造グループ SKG	東京都	あおばく・川を楽しむ会	山梨県	みずすし	滋賀県	八幡場を守る会	福岡県	堀川再生の会 五平太
茨城県	茨城県・環境科学センター パートナ(旧)グループ東京	東京都	神田ネットワーク	山梨県	富士川ファンクラブ・増穂地区	滋賀県	環境フォーラム湖東	福岡県	NPO法人遠賀川流域住民の会
茨城県	株式会社 積水化成品ウレタン SKG	東京都	北沢水辺の会	山梨県	小松ファミリー	滋賀県	伊香保環境保全指導員連絡会議	福岡県	田川ふるとさつづり交流会
栃木県	パナソニック松愛会栃木支部	東京都	江戸川・生活者ネットワーク	山梨県	ハッパ野鳥クラブ	滋賀県	パナソニック(株)のダリアカーナー・緑島(緑島緑地)	福岡県	遠賀川だかジュスター実行委員会
群馬県	NPO法人新田環境みらいの会	埼玉県	川口市立中学校科学技術部	山梨県	計画チーム	滋賀県	人と自然を守る会	福岡県	遠賀みらいの会
群馬県	県積水化成品群馬 SKG	埼玉県	国際環境アートムーブ川口	山梨県	富士川ファンクラブ・中富地区	滋賀県	熊所前町の川を美しくする会	福岡県	菅尾川水辺の楽校
群馬県	相川町環境改善グループ	東京都	江東自転車エコライフの会	山梨県	富士川ファンクラブ・三珠地区	滋賀県	天神川を美しくする会	福岡県	矢部川をつなぐ会
群馬県	前橋育英高校 科学部	東京都	美登会	山梨県	山田ファミリー	滋賀県	長寿の川を美しくする会	福岡県	株式会社 積水化成品九州 豊前工場 SKG
東京都	北川かっぱの会	東京都	美しい多摩川フォーラム	山梨県	イデッパ	滋賀県	三田川を美しくする会	福岡県	パナソニック松愛会九州支部 H.N
埼玉県	白子川流域の水環境をよくする会	東京都	中野・生活者ネットワーク	山梨県	国土交通省甲府河川課事務所 富士川下流出漁所	滋賀県	相模川に親しむ会	佐賀県	株式会社 ミシタ
東京都	東久留米はとけどう会を守る会	東京都	法政大学水文化地理学研究室	山梨県	富士川下流出漁所	滋賀県	長浜市びわ水環境	佐賀県	NPO法人技術交流フォーラム
埼玉県	所沢北高校化学部	東京都	地域活動団体 境川緑のネットワーク	山梨県	生活クラブ生活協同組合(山梨)	滋賀県	Panasonic松愛会滋賀支部	佐賀県	よみふも塾
埼玉県	不老川流域川つくり市民の会	東京都	パナソニックの会	長野県	下諏訪町諏訪浄化排水推進協議会	長野県	長岡市環境保全推進 SKG	長崎県	リールクラブクラブ (JEC)
埼玉県	生活クラブ生協狭山支部	東京都	日野市民環境大学OB会・上野	長野県	千曲川水辺昆虫研究会	滋賀県	株式会社 積水化成品近江 SKG	長崎県	下里エコクラブ JEC
東京都	NPO法人 空堀川に清流を取り戻す会	東京都	日野市民環境大学OB会・坂井	長野県	諏訪湖クラブ	京都府	木津川市こどもエコクラブ JEC	熊本県	次世代のめがけがんばる会
埼玉県	柳瀬川をきれいにする会	東京都	日野市民環境大学OB会・原田	長野県	戸隠地質化石博物館	熊本県	阿久保市こどもエコクラブ	熊本県	株式会社 積水化成品西部 熊本工場SKG
東京都	東久留米水辺の生きもの研究会	東京都	東京水辺の生きもの研究会	長野県	飯坂自然観察研究委員会	大阪府	アクアランド	大阪府	「なせぞ交差点」
埼玉県	熊目川に親しむ会	神奈川県	桂川・相模川流域協議会	長野県	軽井沢水楽会	大阪府	ガールズカヌー大会第21回	大分県	NPO法人大分清流SKG
埼玉県	あさか環境市民会議	神奈川県	さむかわエコネット	大阪府	湯川 の会	大阪府	おおたかたふらぶ 区話し創造委員会	宮崎県	NPO法人大淀川流域ネットワーク
埼玉県	NPO法人 和光・緑と湧き水の会	神奈川県	帝京科学大学	大阪府	エコクラブ クラブ	大阪府	CFKさ魚の会	沖縄県	西表マニエコクラブ JEC
東京都	川クラブ	神奈川県	駒寄川水と緑と風の会	長野県	長野市水環境研究サークル	大阪府	NPO法人大野環境府協議会	沖縄県	石垣マニエコクラブと協会
埼玉県	NPO法人清瀬このとを育む会	神奈川県	CCたかつ	長野県	グリーンヒル友の会	大阪府	福井富次グループ	沖縄県	アンパルの自然を守る会
東京都	鶴川(らし)の楽校	神奈川県	国土交通 関東地方整備局 京浜川事務所	長野県	天竜川総合学習館からんべ	大阪府	アヲバネ北川実行委員会	沖縄県	アマミビル館 よなかクラブ
埼玉県	川の博物館ボランティアの会	神奈川県	まいいか水と緑の会	長野県	信州大学環境学生委員会	兵庫県	日本経済五谷道場スポーツ少年団 JEC		
埼玉県	田もりんど有志	神奈川県	NPO法人 横浜グリーンスタッフの会	岐阜県	NPO法人長良川環境のびっしー協会	兵庫県	丹波佐治川自然の会		
埼玉県	生活クラブ生協日高支部	神奈川県	NPO法人 多摩川エコミュージアム	岐阜県	NPO法人 いびがみみずエコステーション	兵庫県	水環境ネット 史博		
埼玉県	かわこえ環境ネット	神奈川県	大岡川流域まちかわ衆	岐阜県	学校法人西濃学園	兵庫県	北(は)田岡		

この全国水環境一斉調査を実施するにあたり、全国各地の方々からなる「全国水環境マップ実行委員会」を2004年に設置しました。

実行委員

氏 名	役 割	団 体 名	都道府県	T E L	E-mail
風間ふたば	実行委員長	Yamanashiみずネット	山梨県	055-220-8193	kagerou@ymizunet.org
野村 直也	実行委員	NPO法人十勝多自然ネット	北海道	0155-22-7511	nomura_n@arc-corporation.co.jp
金子 博	実行委員	NPO法人パートナーシップオフィス	山形県	0234-26-2381	npo-po@nifty.com
和田 哲男	実行委員	一般社団法人霞ヶ浦市民協会	茨城県	029-821-0552	kcajimukyoku@dream.com
渡邉 勇	実行委員	NPO法人荒川流域ネットワーク	埼玉県	0428-31-7978	nabe0133@t-net.ne.jp
小倉 明	実行委員	新河岸川水系水環境連絡会	埼玉県	048-466-0916	99mamagari@googlegroups.com
小寺 浩二	実行委員	NPO法人地域環境科学研究会	東京都	090-7253-7380	Kodera6106@gmail.com
諏訪 祥子	実行委員	浅川流域市民フォーラム	東京都	042-621-1779	hamukurosachiko@gmail.com
今村 和志	実行委員	NPO法人荒川クリーンエイド・フォーラム	東京都	03-3654-7240	renraku@cleanaid.jp
沼田 清	実行委員	信州水環境マップ・ネットワーク	長野県	0267-32-8608	ecolabo@rondo.ocn.ne.jp
金崎いよ子	実行委員	認定NPO法人びわこ豊稷の郷	滋賀県	077-583-8686	houjyouunosato@lake-biwa.net
野田 晃弘	実行委員	NPO法人蒲生野考現倶楽部	滋賀県	090-3277-9254	asytsm82724@gmail.com
竹原 和夫	実行委員	旭川流域ネットワーク	岡山県	090-1181-1090	okakawa2@yahoo.co.jp
生野 宜宏	実行委員	NPO法人仁淀川お宝探偵団	高知県	090-1172-6994	shono@niyodoriver.com
鈴木 祥広	実行委員	NPO法人大淀川流域ネットワーク	宮崎県	0985-78-2655	info@oyodo-river.org
小野 朋典	実行委員	リュウキュウアユを蘇生させる会	沖縄県	090-1341-1847	ryukyuyayuno@gmail.com

※委員は、2025年10月16日現在

小倉 紀雄	顧 問	みずとみどり研究会	東京都	042-327-3169	mizutomidoriken@ybb.ne.jp
-------	-----	-----------	-----	--------------	---------------------------

事務局

氏 名
菅谷 輝美
高橋 克彦
本間 君枝
森本 洋一
佐山 公一

オブザーバー

小堀 洋美
成 泳植
藤本 雄介
藤井 沙織
宮田 朋幸
水橋 正典
對馬 育夫
鍛冶 尚寛
吉野 英夫
山本 嘉昭
岡内俊太郎
上田 実
樋口 柚里

「パナソニック エコリレー ジャパン」は、

日本国内のパナソニックグループの会社、労働組合、退職者会が「One Panasonic」として三位一体で運営する組織です。持続可能な社会への貢献を目指して、地域社会と共に「森林」「緑地」「水」を中心とした生物多様性保全、里山保全につながる活動、自然教育活動などに取り組んでいます。

特に「水を守る」活動として、「身近な水環境の全国一斉調査」をはじめ、「河川・海岸清掃」や「ヨシ刈り」「外来種水生植物駆除」など、関係団体と連携し、積極的に行なっています。



パナソニック エコリレー ジャパン 事務局 Email : [ecorelay.j@kk.jp.panasonic.com](mailto:ecorelay.j@kk.jp.panasonic.com)

URL : <https://holdings.panasonic.jp/corporate/sustainability/citizenship/ecorelayjapan.html>



# 身近な水環境を調べよう！

## 第23回「身近な水環境の全国一斉調査」参加のお誘い

風間 ふたば 全国水環境マップ実行委員会 実行委員長

日頃、親しんでいる身近な水環境は簡単な方法で調べることができます。

「身近な水環境の全国一斉調査」は市民グループと河川管理者などと連携し、毎年6月5日の「環境の日(世界環境デー)」に近い日曜日に実施しています。本調査は、統一した調査マニュアルと簡単なキット(無償で配布)を用い、全国で一斉に行います。

調査結果をわかりやすいマップとして表現することで、身近な水環境の様子が良くわかります。この調査を通して水環境に関する市民の理解と関心が、いっそう高まることも期待されます。

詳細な調査結果は、本調査専用ホームページ(URL <https://www.japan-mizumap.org/>)や国土交通省水管理・国土保全局のホームページ ([https://www.mlit.go.jp/river/toukei\\_chousa/kankyo/kankyou/research/index.html](https://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/kankyo/kankyou/research/index.html)) で公表されています。

### 次回調査の予定

2026年6月7日(日)を統一調査日として、第23回の全国一斉調査の実施を予定しています。後日、今回ご参加いただいたみなさんに実施のご案内をお送りしますのでよろしくお願いいたします。

測定項目 気温、水温、COD、その他

測定方法 調査マニュアル、調査キットに基づき測定(※1)

参加申込と締め切り 専用ホームページダウンロードまたはP.22の申し込み用紙に必要事項をご記入の上、下記の連絡事務局(みずとみどり研究会)に、**2026年3月10日(火)**までにお知らせください。

なお、ご記入いただいた個人情報は今回の調査に関する連絡以外に、ご本人の許可なく使用いたしません。参加申込された団体はホームページで公表させていただきます。

## 人と地球の、 美しい未来へ。

私たち積水化成品工業がめざすのは、環境と共生しながら、先端素材の技術を未来に生かすこと。

人と地球が調和する持続可能な社会の実現に向けて前進していきます。

### 積水化成品工業株式会社

大阪本社：大阪市北区西天満 2-4-4 堂島関電ビル  
東京本部：東京都新宿区西新宿 2-7-1 新宿第一生命ビルディング

[www.sekisuikasei.com](http://www.sekisuikasei.com)

SEKISUIKASEI

### 協賛企業等を募集しています

協賛いただいた企業、団体につきまして広告を結果概要パンフレットに掲載させていただきます。当結果概要パンフレットは身近な水環境の全国一斉調査に参加した皆さまや関連団体などに毎年配布しています。詳しくは、全国水環境マップ実行委員会事務局までご連絡下さい。

全国一斉調査 お申し込み先

FAX:042-327-3169 E-mail:mizutomidoriken@ybb.ne.jp

## 第23回 身近な水環境の全国一斉調査 参加申し込み用紙

参加申し込み用紙はホームページ(<https://www.japan-mizumap.org/>)からもダウンロードできます。 [Q](#) [身近な水](#) [検索](#)

2026年3月10日(火)までに必ずE-mailまたはFAXでお知らせ下さい。

■ これまでに全国一斉調査に参加したことはありますか

☐ 過去の参加あり

☐ 初めて

■ 参加グループ名

以前の全国一斉調査に参加された方でグループ名の変更がある場合には昨年の登録名もお書き下さい。団体名が異なると経年データとして結果が反映されません。

参加グループ名(個人参加の場合は参加者氏名、ただし個人情報保護の関係で個人名の公表は致しません)

変更前のグループ名

■ 参加グループの連絡責任者 (個人参加の場合はご記入の必要はありません)

■ 連絡先 (グループの場合は連絡責任者の連絡先、個人の場合はご自宅など)住所、電話、FAX、E-mail(特にE-mailアドレスははっきりとお書き下さい携帯電話のE-mailは不可)

住 所〒

-

電 話

-

-

FAX

-

-

E-mail

■ 調査予定地点名 河川名など 例)〇〇県 〇〇川、××用水路、△△池。

■ 河川以外の水路・水辺等で調査を実施しますか

河川以外の水路・水辺(農業用水路、ため池等)で行う調査地点がある場合には、原則として水路・水辺等の管理者や所有者の許可を得ることが必要となります。「はい」とお答えの方は別添「河川以外の調査了解調査票」にご記入の上、事務局に申し込み用紙と一緒にご提出ください。(専用HP上の詳細マニュアルの注意事項を参照してください。)

☐ はい

☐ いいえ

■ 調査予定日 ただし、結果の返送締め切り日(6月末日)より前に実施してください。

☐ 6月7日に実施する

☐ 6月7日に実施できない【その場合の予定 月 日】

■ 調査予定地点数 水質調査キットの事前準備のため、必ずお書きください。

地 点 (水質調査キットの事前準備のため、必ずお書きください)

■ 参加申し込みの確認は3月17日以降ホームページ(<https://www.japan-mizumap.org/>)でできます。

※調査の風景などの写真送付にご協力ください。お送りいただいた写真はパンフレットやホームページに使用させていただきます。

事務局からのお願い

申込後、お手元に水質調査キット類が届きましたら、必ず内容をご確認ください。

※1 調査キットは、参加申込者に2026年5月頃に配布予定です。

問合せ先

〇全国水環境マップ実行委員会 事務局  
みずとみどり研究会気付(申込・問合せ)

〒185-0021 東京都国分寺市南町2-1-28 飯塚ビル202

TEL/FAX:042-327-3169 E-mail:mizutomidoriken@ybb.ne.jp